

科目名	通商実務論	科目コード	1255	単位数	2
担当者名	菊地 均	開講セメスター	第6セメスター	開講年次	3年次

● 授業のねらい

本授業は、各学科の専門科目を基礎にして、自らのキャリアアップを図るためのものである。世の中は、企業活動がグローバル化し、それに伴い貿易取引の仕組みや外国為替、貨物海上保険などの貿易に関する知識が求められている。そのために、通商実務論 では通商実務の専門的知識を広く修得し、貿易実務検定に臨んでもらうことをねらいとしている。

● 到達目標

通商実務論 ・ を基礎に貿易実務検定 A 級の資格取得を目標とし、通関士試験の合格へと導く。

● 授業内容

- 1週目 貿易と外国為替の仕組み
- 2週目 外国為替市場と相場
- 3週目 船荷書類と船荷証券
- 4週目 国際航空運送
- 5週目 先物為替取引
- 6週目 交際収支の構成
- 7週目 管理通貨制
- 8週目 貿易決済と輸入金融
- 9週目 トランスファー問題
- 10週目 為替調整と為替管理
- 11週目 貨物海上保険と貿易保険
- 12週目 民間長期投資の動向
- 13週目 短期資本の移動
- 14週目 わが国における通関制度
- 15週目 国際投資と経済効果
- 16週目 為替変動リスクの回避。やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講授業を行う。

● 準備学習(予習・復習)等の内容

毎週、予習・復習すべき内容を指示するので、それに従い各々週 2 時間の準備をして臨むこと。なお、その際、自己点検シートを配付するので、記入すること。

● 成績評価の方法・基準

期末試験、レポート、授業への参加意欲で総合評価する。

● 履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法

高度な実務家養成を主眼とした貿易実務論は、学部レベルで実践できるのは有意義だといえる。毎週、過去の試験問題にも積極的に取り組んでもらいたい。なお、遅刻は原則として認めないが、やむを得ない理由により遅刻する際は、必ず連絡を入れること。

● テキスト

日本貿易実務検定協会編『めざせ！貿易実務検定』改訂11版(日本能率協会マネジメントセンター)2200円

● 参考書

『図解貿易実務ハンドブック・ベーシック版』第5版(中央書院)3570円

● 更新日付

2019/03/05 02:12